

青山学院大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等 一般財団法人 平和・安全保障研究所
- 実習場所：東京都港区
- 参加対象者：国際政治経済学部 1～4学年、
- 実習期間：8月～9月 ● 実習日数：13日以上

<取組の概要>

社会の現実で各種の組織や機関において行われるOJT(実習活動、フィールドワーク、実務経験)を通して、国際政治経済の諸事象に関心を高め、知的活力を涵養し、また、本学部での授業や講義で学ぶ教育の効果増進をはかることを目的とし、この経験を教育の一貫として認め、体験した学生に単位を認定している。

<取組の具体的な内容>

1.新聞記事の共有

毎朝 20分程度の時間を設け、研究員とともにその日の新聞記事の共有を行う。重要と思われるニュースを3つ選び、理由と、何が考えられるかということをも5分で発表し、研究員からのフィードバックをもらう。

2.電話対応

4日間、電話対応の練習を行い、応対上のマナーを学ぶ。その後、実際の電話対応を全て行う。

3.基本的なビジネスマナーの取得

お客様の接待等の実践。

4.ポスターの発注

業者と、具体的なポスターの発注内容についてメールによりやり取りを行い、業者への発注を行う。

5.アジアの年表

本研究所で毎年刊行している「アジアの安全保障」の巻末にある年表の下書きの作成。

6.総合火力演習観覧研修の運営のサポート

陸上自衛隊の総合火力演習(俣月器日)の観覧研修に参加し、運営のサポートを行う。事前に綿密なタイムスケジュールを作成し、当日も臨機応変な対応を行う。

明治学院大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(実習)(1単位)
- 実習先企業等：野村証券株式会社
- 実習場所：野村証券渋谷支店
- 参加対象者：経済学部3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：5日間

<取組の概要>

「キャリアデザインの構築」「社会人基礎力」等に関するゲストスピーカーの講演、事務手続きのガイダンスを実施し、経済学部提携実習受け入れ企業等が実施するインターンシップに参加する。



実習風景（野村証券株式会社）

<取組の具体的な内容>

★事前授業

★実習(野村証券の例)

- ・日経新聞の読み方、読み合わせ
- ・東証、日銀、野村証券本社見学
- ・講義、講話(株式市場の役割、投資信託の役割 他)
- ・若手社員とのフリーディスカッション
- ・グループワーク、プレゼンテーション

★報告書提出

専修大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：学外特別研修(4単位)
- 実習先企業：公益社団法人東京自治研究センター
- 実習場所：東京都新宿区上落合2-23-7
- 参加対象者：経済学部2～4年生
- 実習期間：8月18日～8月22日
- 実習日数：5日間

<取組の概要>

きわめて限定された体験によってしか社会とのつながりをもてなかった学生たちが、期間限定とはいえ、企業や役所、非営利組織の現場を「社会人」として実体験することを通じて、<社会を見る目>を自らの努力で養う一助とする。



授業の様子

<取組の具体的な内容>

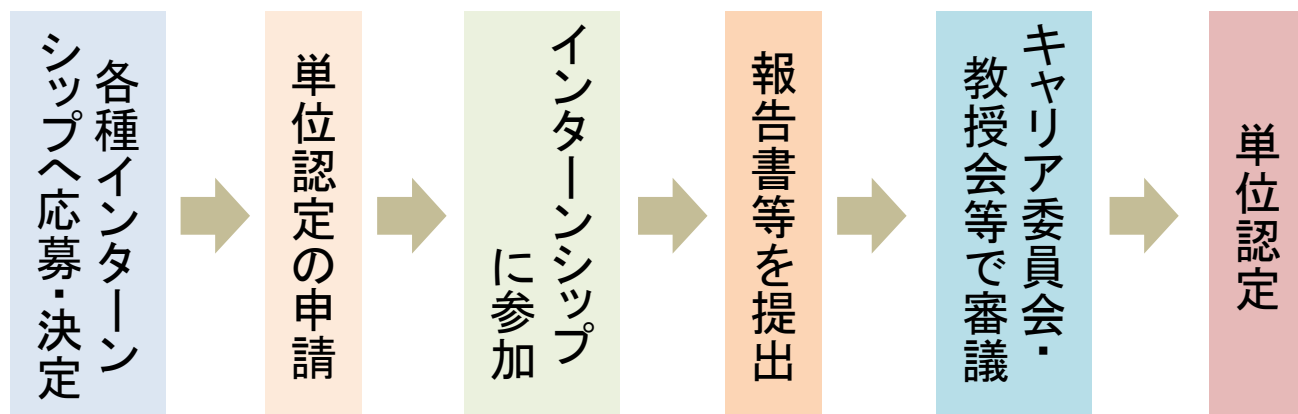
- 1日目：オリエンテーション(公益法人制度、法人の歴史・概要、事業内容等)地方財務入門(座学)、追録、資料整理等作業
- 2日目：現磁力関連施設立地自治体の財政(座学)
東京の制度地層(座学)原子力資料情報室訪問
- 3日目 追録、資料整理等作業 機関紙「とうきょうの自治」取材
- 4日目 認定NPO法人まちぽっと訪問・ヒアリング
八王子廃棄物行政視察(戸吹クリーンセンター)
- 5日目 環境自治体会議訪問・ヒアリング
レポート作成
反省会

大妻女子大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: 企業等体験実習(1~2単位)
- 実習先企業等: ガス関連企業
- 実習場所: 神奈川県横浜市
- 参加対象者: 社会情報学部・人間関係学部・比較文化学部の全学年
- 実習期間: 8月~9月 ●実習日数: 10日間

<取組の概要>

インターンシップに参加した学生が単位認定を申請する。
45時間以上のインターンシップへの参加が申請条件となり、以下のような手続きを経て単位認定される。
今後、産業界ニーズで実施するインターンシップをはじめ、多様化するインターンシップへ対応するべく制度改良を進めている。



<取組の具体的な内容>

(実習内容の一例)

初日に実習先企業の業務内容および電話対応の仕方等について学び、2日目以降は様々な部署での就業体験を行った。

営業同行や総務課での発注作業・伝票処理等の事務作業といった一般的な業務に加えて、各家庭へ出張しての機器修理・設置、点検業務等の現場作業まで、幅広く体験。

最終日には実習先担当者、他大学からの参加者とともに振り返りを行った。

拓殖大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:学外実習(2単位)
- 実習先企業等:株式会社アルプス技研
- 実習場所:神奈川県横浜市
- 参加対象者:工学部3年生
- 実習期間:8月~9月
- 実習日数:10日間

<取組の概要>

アルプス技研では初めてインターンシップを実施することから、本学として内容の充実や実効性確保ならびに諸手続きに関して助言し、技術者向けインターンシップモデルの立ち上げに貢献した。

<取組の具体的な内容>

技術系企業、特に製造業においては、修士号取得者を多く採用する傾向が強くなっている。本学の学部生も、メンテナンス系や通信系などのサービス業への就職が大きい割合を占めており、中でも技術派遣企業の増加傾向が著しい。

一方、技術系アウトソーシング企業においては、いわゆる「派遣業」として認知度や好感度がやや低迷しており、その向上が大きな課題となっている。

本インターンシップは以上の背景のもとに企画されたものであり、当GPの成果も盛り込まれている。すなわちコミュニケーション能力向上のためのグループワーク中心の取組である。

今回は横浜と大阪で各25名を3チームずつに分け、ロボットが障害物を取り除きながらピンポン玉を運ぶ作業を競い合うという課題に取り組んだ。本学からも横浜チームに2名が参加した。

この過程において、チームへの積極的な関わり方やチームワークの活かし方、さらには議論の進め方も学ぶことができた。特に実習終了時の達成感の大きさは想像以上であり、実際に企業内で働くことによって社会人になることに対する自覚と自信が芽生えたことから、大学内での実験・実習だけでは得られない貴重な体験であったと評価している。

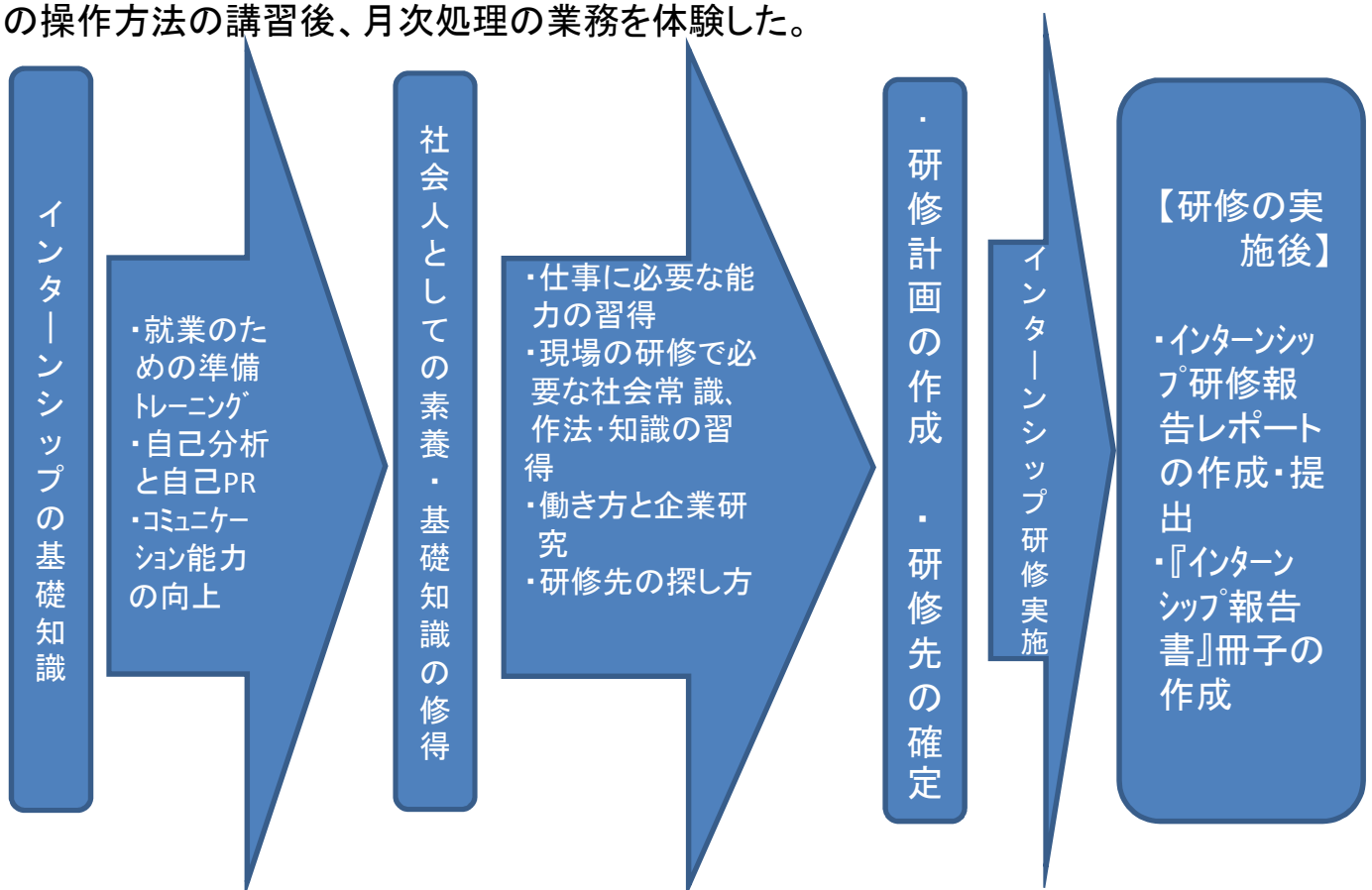
なおこの取組は9月29日付の日経産業新聞で紹介された。

駒澤大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:ビジネス・インターンシップa.b(各2単位)
- 実習先企業等:税理士法人 越智会計事務所
- 実習場所:東京都渋谷区 ●参加対象者:経済学部3年生(選択科目)
- 実習期間:8月 ●実習日数:3日

<取組の概要>

「ビジネス・インターンシップa」でビジネスマナーの学習とあわせて実習先の確定・事前学習を進め、「b」として実習に臨み、会計事務所の基本的業務および現状について講習を受け、会計事務所の業務全般を理解したうえで、会計事務所で使われている会計ソフトの操作方法の講習後、月次処理の業務を体験した。



<取組の具体的な内容>

会計事務所の業務(経営コンサルティング、税務・財務相談、相続・事業継承相談、税務・財務関連業務等)の講習を受けるとともに、業務上必要なビジネス・マナーの講習が行われた。座学講習後、実習先会計事務所に導入されている会計ソフトの操作方法等の講習を受けた後、顧客企業の伝票・日計表の入力作業、月次処理の業務を実習した。会計事務所でのインターンシップ実習を通じて、学生たちは、税務・財務関連業務のみならず、顧客・依頼主からの相談やコンサルティング業務の現実や株主総会の資料作成等の業務など会計事務所の多岐にわたる業務に触れさせることが出来た。

芝浦工業大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名： インターンシップ(1単位)
- 実習先企業等： ゼネコン, コンサル, 自治体など土木分野
- 実習場所： 関東(東京都渋谷区, ほか九州, 北陸, 台湾など)
- 参加対象者： 工学部土木工学科3年生、修士1年生
- 実習期間： 8月～9月 ●実習日数： 2週間以上が単位認定の条件

<取組の概要>

企業の専門分野を調査し、ゼネコン、コンサル、環境、計画、情報シンクタンク、官庁などそれぞれの分野で、具体的な経験を積む。より専門的なテーマでのインターンによって、具体的なテーマでの問題点と解決への社会的なニーズを理解し、以後の学習の方向を明確にすることに役立たせる。なお外部での調査は夏休みを利用し集中的に行う。

2年生と違って専門的知識を有しているので、専門的な視点で実社会の動向、社会で必要とされる専門知識の水準、土木構築物の計画に関わる情報整理の方向などの知識を、この演習を通して習得する。約2週間の企業インターンで、企業の専門分野の方々のプロの議論に参加し、講義での知識を生かして派遣先での業務補助を行なことで、具体的な計画、立案、提案の手法を身につける。

<取組の具体的な内容>

実習内容例(コンサルタント)

- ・実習(鉄道統計年報等を用いた原単位算出)
- ・業務補助(用地費積算, 資料整理, 英文資料翻訳)
- ・研究会, 現場見学

学内においては、夏季休業期間の最終週に

インターンシップ報告会を実施

(単位認定者および発表希望者)

- ・インターンシップで行ったことに加え、何を学んだか、これからどう生かしていくかを中心にプレゼンテーションする。
- ・2014年度の発表者数32名

1日の例(ゼネコン)

| | |
|-------------|--------|
| 7:50 | 出勤 |
| 8:00 | 朝礼, 体操 |
| 8:15-12:00 | 現場作業 |
| 12:00-13:00 | 昼休み |
| 13:00-15:30 | 現場作業 |
| 15:30-17:15 | 内勤 |
| 18:00 | 退勤 |

工学院大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：学外研修(2単位)
- 実習先企業等：製造業A社(電子機器製造)
- 実習場所：埼玉県入間郡
- 参加対象者：全学部3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：10日間

<取組の概要>

企業において10日間の実習を行うとともに、事前研修(マナー講座等)、事後研修(報告書作成と「成果報告会」)を大学側の指導の下で実施した。本事例を含め、2014年度は企業等169の受入機関において学生283名(3年生の約20%)が実習に参加した。



事前研修(マナー講座)



成果報告会

<取組の具体的な内容>

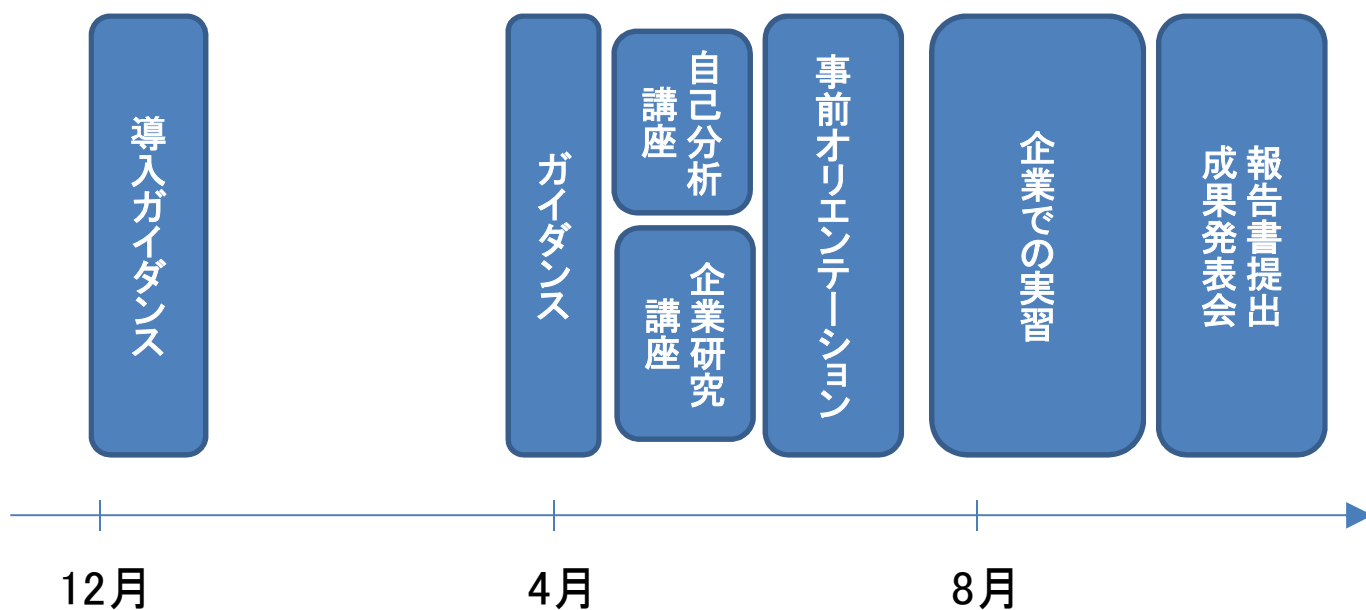
- ・会社概要の説明
- ・実務実習
 - ①小物の組立作業
 - ②蛍光灯交換工事
 - ③LED照明の見積もり計算
 - ④研修先企業が開発した特殊プリンターの調整、印刷
- ・営業同行
- ・協力企業の工場見学 5件

東京電機大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：トヨタ自動車(株)
- 実習場所：愛知県豊田市
- 参加対象者：学部3年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：18日間

<取組の概要>

事前学習として、企業実習の趣旨説明、実習方法、企業研究等を行う。事前学習を踏まえて、企業で約3週間の実習を行う。インターンシップ終了後は、事後学習として報告書の提出、成果報告会を実施。



<取組の具体的な内容>

事前学習として、ガイダンスや各種講座を実施し、インターンシップの意義や具体的な実習内容の説明、昨年度インターンシップに参加した先輩の体験談を聞く機会として実施。また、自己分析や企業研究講座、事前オリエンテーションを行いながら、インターンシップに目的をもって参加できるよう指導を行う。

企業での実習を通じて、工場見学やテーマに関する勉強、製品開発や評価などの実務を体験する。インターンシップの最後には、これまで取り組んだ内容、結果を実習先へ報告する。インターンシップ終了後は、大学へ報告書を提出し、成果報告会を実施して、インターンシップの振り返りを行う。

東京都市大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(1)(2)(各1単位)
- 実習先企業等：東急建設株式会社
- 実習場所：神奈川県川崎市
- 参加対象者：学部2年生以上
- 実習期間：9月1日～9月14日 ●実習日数：10日間

<取組の概要>

施工管理業務を通じて、実務をこなしながら自身の将来に役立つ就業体験を積む。業界・業務への理解度を高めること、自身の進路に対する実務経験を得ることを目的とする。



現場巡視同行

コンクリート
打設見学



安全パトロール

測量体験



<取組の具体的な内容>

- ・建設現場を中心とした概要説明(工事概要、業務進捗、各職種業務(役割、関わり理解))
- ・施工方法・建設機械についての説明
- ・測量手許
- ・工事写真撮影・写真整理
- ・施工計画書と実際の施工順序の確認
- ・1日の業務の流れ(朝礼・新規入場・昼打合せ・社員打合せ)体験
- ・現場巡視同行(安全点検・作業指示)等
- ・現場打合せ等参加
- ・各種検査立会、官公庁申請届出同行
- ・実習成果の発表会など

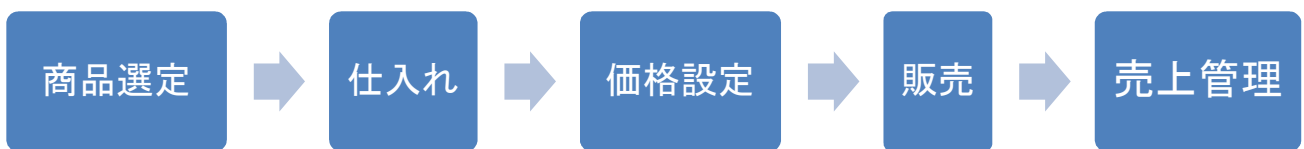
業務内容や必要とする技術はもちろん、人とのつながり、コミュニケーションの重要性も学ぶ。

東京家政大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：キャリア形成支援講座(2単位)
- 実習先企業等：非特定営利事業団体コミュニティビジネスサポートセンター
- 参加対象者：大学1～3年生 家政学部・人文学部対象
- 実習場所：東京都北区「和(なごみ)」
- 実習期間：平成26年5月～7月・8月～11月
- 実習日数：各6日

<取組の概要>

NPO法人コミュニティビジネスサポートセンターと連携し、4期にわたりマーケット調査及び店舗運営を行い、検証に取り組む。



<取組の具体的な内容>

事前研修：販売までの一連の業務内容・留意点を学ぶ。

商品選定：各学生が様々な地域にて製造された商品を発掘し、仕入れの交渉を行う。

販売準備：店舗のディスプレイ、販売価格設定、チラシ等の作成を行う。

販売：店舗における6日間の販売実習。店舗前でのチラシ配り、商店街の放送などの販売促進活動を行った。

振返り：

※学生自らが、仕入れ交渉、販売(6日間)、そして売上管理と、小売業における一連の業務に、4期にわたり取り組んだ。各期毎に、課題設定と振返りを行ったこともあり、売上実績を伸ばすなど、課題解決力の伸長を示唆する事となった。

東京家政大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア形成支援講座(2単位)
- 実習先企業等: 株式会社東京商事
(ホテルグリーンプラザ軽井沢)
- 参加対象者: 大学2・3年生 家政学部・人文学部対象
- 実習場所: 群馬県吾妻郡
- 実習期間: 平成26年8月～9月
- 実習日数: 15日間

<取組の概要>

リゾートホテルの宿泊部門にて、フロント・クローク業務やイベント運営等を経験し、ホスピタリティについて学ぶ。



<取組の具体的な内容>

- ・研修(1日目)
接客に関する知識
- ・フロント業務(2日目～最終日)
チェックイン、チェックアウト・クローク・館内のご案内・バス予約
- ・清掃(7日目・10日目・11日目)
ホテルロビー・大浴場脱衣所等
- ・イベント運営(2日目・3日目・4日目・9日目・11日目・14日目)
縁日の手伝い

東京家政大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア形成支援講座(2単位)
- 実習先企業等: 株式会社佐藤農園
- 参加対象者: 大学2・3年生 家政学部・人文学部対象
- 実習場所: 佐藤農園(山梨県山梨市)・東京都(有楽町)
- 実習期間: 平成26年8月～9月
- 実習日数: 5日間

<取組の概要>

果実の生産・収穫、加工製造、販売までの一連の流れを経験することで、農業の現状とビジネスモデルの構築について学ぶ。



農業の6次産業化

(1次:生産・収穫) × (2次:加工品製造) × (3次:販売・サービス)

<取組の具体的な内容>

- (1)社員の方々から桃のマーケティングについて学ぶ。
- (2)黄美娘の選果・桃の収穫・桃の選果方法の説明を受ける。
- (3)黄美娘のジャム作りを体験する。
- (4)桃の販売体験を通して、お客様の求めている商品が年齢層によって異なることを学ぶ。
- (5)他の大学の学生と共に集団生活を行い、様々な作業工程の中でチームで働くことを学ぶ。
- (6)マーケティングから販売までの一連の流れを、学び・体験することで、学生自身の次への課題発見と繋がる。

昭和女子大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業：株式会社ドン・キホーテ
- 実習場所：東京都目黒区のドン・キホーテ本社と葛飾区新小岩のルミエール商店街
- 参加対象者：他大学を含む3年生と2年生
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：12日間

<取組の概要>

インターンシップ生約10人だけで、実験的に1店舗を1週間にわたって経営させる試み。タイトルは「驚愕の社長体験インターンシップ」。写真は店舗前でドン・キホーテの商品を販売する本学学生。



<取組の具体的な内容>

このインターンシップはドン・キホーテグループからの持ち込みによるもので、学生に店舗経営を体験させるという「難易度の高い」学習プログラム。具体的には、マーケティングから販売戦略の立案、営業時間の設定、勤務シフトの作成、問屋からの商品の仕入れ、商品の価格設定、陳列、接客販売まで、「商売をゼロから立ち上げる」内容になっている。1DAYの説明会に500名を超える希望学生が参加し、グループワークなどにより、8名に絞り込んだ。8月中にドン・キホーテ本社で5日間にわたって打ち合わせをしたあと、9月1日(月)から7日(日)まで、新小岩駅前の日貸店舗(広さ12坪)を使って商店経営を実体験し、「自分の頭で考え実行することの大切さを学んだ」(本学から参加した3年生)。

東京未来大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: 夏期期間のインターンシップにおいては単位認定なし
- 実習先企業等: 金融業 (支店管轄内での実施)
- 実習場所: 東京都台東区
- 参加対象者: 全学年、全学部(21名参加)
- 実習期間: 8月18日～8月20日
- 実習日数: 3日

<取組の概要>

東京未来大学の学生21名が野村証券株式会社上野支店にて3日間のインターンシップを実施した。上野支店では初めての受け入れとなるため、全プログラム内容を受入先のご担当者様とキャリアセンターとでゼロから、模索・検討し、最終的に学生の満足度も非常に高く終わることが出来た。



他学部・他学年との共同作業



全員の前での発表は緊張



東京証券取引所の見学



社員さんの前で自己紹介

▼日報

| 期間 | 実習概要 | 具体的な気づきと今後に向けて | 受入先所見 |
|---------|---|--|---|
| 1 日目 | 支店長講話 新聞読みあわせ 証券会社の仕事説明 若手社員座談会 グループワーク 池上への講話 | 今日1日 証券会社について学ぶことができた。少しは証券業の仕組みが理解できた。スバーとロの習い方がよくて、目に見えてくると、一瞬で理解がわかっていく。また、この講話は大変役に立った。 | 目上の人と話すのは緊張するが、先輩の話を聞いて、自分も頑張りたいと思う。日報も書いて、自分の成長を振り返りたい。 |
| 2 日目 | 新聞の読みあわせ 大手町平和見学 証券会社の仕事説明 グループワーク 池上への講話 | 大手町の会社は、証券会社というイメージが強いが、実際には色々な会社が並んでいる。証券会社は、金融の中心地である。また、証券会社は、金融の中心地である。また、証券会社は、金融の中心地である。 | 証券会社の仕事は、想像以上に大変そう。でも、先輩の話を聞いて、自分も頑張りたいと思う。日報も書いて、自分の成長を振り返りたい。 |
| 3 日目 | 証券会社の仕事説明 グループワーク 池上への講話 | 証券会社の仕事は、想像以上に大変そう。でも、先輩の話を聞いて、自分も頑張りたいと思う。日報も書いて、自分の成長を振り返りたい。 | 証券会社の仕事は、想像以上に大変そう。でも、先輩の話を聞いて、自分も頑張りたいと思う。日報も書いて、自分の成長を振り返りたい。 |
| 目録 | | 野村証券様、3日間のインターンシップありがとうございました。 | |

<取組の具体的な内容>

【事前指導】

8月6日に夏期インターンシップ参加予定の全ての学生を集めて、事前指導を実施した。90分間を使い、マナー研修、事前準備状況のチェック、危機管理・体調管理、欠席・遅刻の時の対応等、ワークを通じて全員で最終確認をした。

【実習内容】

- 【1日目】 支店長講話、新聞読みあわせ、東京証券取引所見学、マーケットエクスペリエンス(株式投資体験)
- 【2日目】 証券会社の仕事説明、若手社員座談会、グローバル化する世界と資本市場の講話、グループワーク
- 【3日目】 エクイティマーケティング部講話、就職活動の勘所講話、グループワーク、最終プレゼンテーション

【事後指導】

10月1日に夏期インターンシップに参加した全学生を集めて、事後指導を実施した。90分間を使い、実際に働いてみて予想と違ったことや体験したことで自らの学生生活がどう変化していくのか等、ワークを通じてインターンシップを振り返り、学びの情報交換をすることで今後に向けた目標設定まで実施することが出来た。

【学生の感想】

●モチベーション行動科学部 2年 Mさん 女性

インターンシップは、他学部の学生や先輩や後輩もいたので大変刺激を受けました。グループワークでは、今回は発表者ではなく、裏方に回ったのですが、みんなに必要とされ、反対にみんなも必要だと感じ、とてもチームワークの強いグループでした。硬いイメージの会社でしたが、とても良い人達で安心してインターンシップを受けることができました。優勝もできて、大満足です。今回の経験を通じてまた少し成長できた気がします。

目白大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア研修 I (2単位)
- 実習先企業等: プラス株式会社
- 実習場所: 東京都内
- 参加対象者: 人間学部、社会学部、経営学部、外国語学部2年生
- 実習期間: 8月25日～8月29日
- 実習日数: 5日間

<取組の概要>

一般企業を研修の場とし、事前・事後の学習、実地研修、成果発表会を通して、ビジネスの仕組みについて理解し、コミュニケーション能力と問題解決のための行動を体得し、就業意識の醸成を行うことを目的としている。正課授業である「キャリア研修 I」では、事前学習2日間、実地研修5日間、事後学習1日、成果発表会1日の全行程に参加することで単位が認定される科目である。



事後研修



接客の研修

<取組の具体的な内容>

| | |
|--------------|---|
| 事前研修 | インターンシップの意義、目的の確認。ビジネスマナー。業界研究。 |
| 実地研修 (実習) | 1日目: 業界の現状、仕事内容の説明。 2日目～4日目: ショールームでの接客(文具担当)。目的はブランディングと市場調査。 5日目: 研修のまとめ、自分が気づいた点を質問。 |
| 事後学習 | 体験の共有。目標の検証。 |
| 成果発表会 | 体得した内容のプレゼンテーション。相互フィードバックと学びの共有。 |

目白大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア研修Ⅱ(2単位)
- 実習先企業等: 株式会社システムアート
- 実習場所: 東京都内
- 参加対象者: 人間学部、社会学部、経営学部、外国語学部の2年生
以上で、キャリア研修Ⅰの履修者
- 実習期間: 8/18～8/29
- 実習日数: 10日間

<取組の概要>

一般企業を研修の場とし、10日間の実地研修、事後学習、成果発表会を通して、ビジネスの仕組みについて理解し、コミュニケーション能力と問題解決のための行動を体得し、就業意識の醸成を行い、将来の職業について考えることを目的としている。

キャリア研修Ⅰと比較し、実地研修期間が倍になることで、業務内容も濃くなり、各職種に深く踏み込んだ作業となるのが特徴であり、学生も一つの業務を任されることで、働く意味や、やりがいを感じ、自信を得ることができる。

また、「キャリア研修Ⅰ」での経験から、自分の強み、弱みを理解した上で、実習企業の選択を行っているため、将来を見据えた職種、企業でのインターンシップが可能である。



事後研修



成果発表会

<取組の具体的な内容>

| | |
|--------------|---|
| 実地研修 (実習) | 1日目: 事業内容説明。社内ルール説明。オフィスワーク業務内容説明。 2～4日目: 総務事務体験。 5～8日目: 営業事務体験。 9・10日目: 採用事務体験。研修のまとめ、振り返り。 |
| 事後学習 | 体験の共有。目標の検証。 |
| 成果発表会 | 体得した内容のプレゼンテーション。相互フィードバックと学びの共有。 |

法政大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア体験学習(2単位)
- 実習先企業等: 飯田市役所
- 実習場所: 長野県飯田市
- 参加対象者: キャリアデザイン学部 2年生
- 実習期間: 2014年8月6日～11日、9月7日～12日
- 実習日数: 各日程 5日間

<取組の概要>

「フィールド(実社会)体験の言語化とキャリアドライバーの探索」を授業のテーマに掲げています。

春学期に、「キャリア体験学習事前指導」という科目で、インターンに行くための面接や指導、事前研修、マナー研修等を実施しています。その後、夏休みを使って、インターンシップを実施し、秋学期は、振り返りとして授業を実施し、レポート等を課しています。



<取組の具体的な内容>

【授業の到達目標】

- ◇働く場・働き方・働く人の多様性を認識します。
- ◇実習を言語化します。
- ◇働くとは何かを改めて考え、キャリアデザインする意識を明確化します。
- ◇伝えるためのインタビューの仕方を学びます。
- ◇キャリアデザインのドライバー(駆動力)を探索します。

【授業の概要と方法】

- ◇実習体験をグループワークにより共有し、働く現場の多様性を認識します。
- ◇体験を教員に対する報告(面接形式)・グループワークでの発言・スピーチ(個人発表)・エッセイ執筆(編集により文集の作成)により言語化します。
- ◇働くことを講義やグループワークで改めて考察します。グループワークでは、「エッセイで何を伝えたいか」、「キャリアドライバーを探す」などをテーマに行っています。

【取組内容】

将来公務員となることを志望する学生に対して、飯田市役所がフィールドワークの場を提供し、地方自治体の現場の経験、地方行政や地域政策について実習を行います。

定住自立圏や環境モデル都市の取組などこの地域の先進的な取組や、様々な分野における多様な主体による協働の取組について学びます。